



# 四谷通信

## Yotsuya Fire Station

2020年11月号

問合せ先  
四谷消防署  
予防課防火管理係  
TEL3357-0119



# 秋の火災予防運動



11月9日(月)～11月15日(日)

令和2年度東京消防庁防火標語

## もう一度 確認 安心 火の用心

作者 すがの菅野 みか珠加さん(江戸川区在住)

### 防火防災診断を行います！

今年はチェックシートで自己点検を！

令和2年11月9日(月)から11月15日(日)まで秋の火災予防運動を実施します。火災予防運動期間内に一戸建て住宅及び小規模共同住宅等に対し、家庭用防火防災チェックシート等を配布します。今年は対面ではなく、広報誌と合わせてご自宅に投函させていただきます。住宅火災の発生防止及び住宅用火災警報器の点検・交換にお役立てください。

### 住宅用火災警報器は作動しますか？

設置は義務です！

#### ① 住宅用火災警報器とは

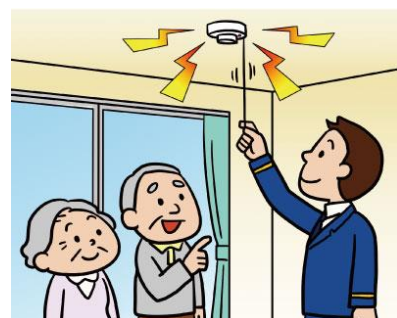
住宅用火災警報器は、火災や煙などを感知して音声や警報音で知らせてくれるため、火災の早期発見につながります。住宅用火災警報器は、すべての居室、台所、階段に設置が必要です。東京消防庁管内では、平成16年10月1日から新築の住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、既存の住宅には、平成22年4月1日から義務付けられています。

#### ② 適切な維持管理・点検

住宅用火災警報器は適切に作動するか定期的に作動確認しましょう。作動確認は、本体の点検ボタンを押すか、ひも付きのものは、ひもを引くことで行うことができます。音がならない場合は、電池切れか機器の故障が考えられます。詳しくは製品の取扱説明書をご確認ください。

#### ③ 交換時期について

住宅用火災警報器の耐用年数は概ね10年といわれています。平成22年の既存住宅への設置義務化からも10年が経過していることから、火災を感知できなくなる可能性が高まるため自宅の住宅用火災警報器の設置年月を確認して、機器本体を交換しましょう。



## 消防団員インタビュー

青年海外協力隊の活動(南米)から帰国した際、  
日本でも何かボランティア活動をしたいと思いました。

大石 直子 四谷消防団本部 部長(会社員)



消防団には兄、妹、従兄弟が先に入団していたことから、その影響もあり入団しました。消防団は町会、学校と連携した活動をする頼もしい存在であり、東日本大震災以降、女性の役割も広がり、広報、救護だけでなく消火活動等、活動の幅が広がっています。四谷だけでなく都内の他の消防団とも交流があったり、研修では他県の消防団とも交流があったりと、入団してよかったことは数えきれません。年齢に関係なく幅広い活動ができると思います。

夫と子供達の「いざという時誰かの力になれるなら、  
やってみれば。」という言葉に後押しされました。

大貫 三和子 四谷消防団本部 副団長(主婦)



入団当初は、団活動で行った規律訓練すら満足にできませんでしたが、先輩方の根気強いご指導のおかげで、徐々に身に付いていきました。それと同時に新しいことを学ぶ事が楽しくなりました。誰でも始めはできません。しかし、身近な人の役に立ちたいという思いがあればいいと思います。そのような思いを持っている方には、救護・消火・住民指導などの知識を、学ぶことができる消防団にぜひ入団して頂きたいと思います。

## 消防団員募集中

消防団に入団して自分たちの町を守ろう！

消防団は、火災などの災害活動をはじめ、応急救護の普及活動や災害を未然に防ぐための啓発活動など、幅広い活動を行っています。会社員や自営業、学生や主婦など様々な職業や年齢層の方々が「自分たちの町は自分たちで守る」という精神のもと、地域に密着した活動を行っています。

## 消防団への入団条件は3つ！

- ① 年齢18歳以上の方
- ② 心身ともに健康な方
- ③ 消防団の区域内に居住・勤務又は通学している方

首都東京を守る消防団

団員募集中!!



お問合せはフリーダイヤルまたは最寄りの消防署まで

東京消防団

<https://tokyo23city-syobodan.jp/>

